

# 鳥獣センター通信

2017  
10  
Vol.21

発行元  
鳥獣被害対策支援センター  
電話 0902(6)22008

【鳥獣被害対策支援センター】

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kankyo/shinrin/mfc/damagesupport/index.html>

## 鳥獣被害対策マイスターレベルアップ 研修(中小型獣対策)を開催しました。

県では、鳥獣による被害対策を効果的に行うため、平成22年度より各地域で技術指導などを行う鳥獣被害対策マイスターを養成しています。

さらに、このマイスターの知識と技術力の向上を図るため、「鳥獣被害対策マイスターレベルアップ研修」を併せて実施しています。

今回は、中小型獣対策研修と題し、「アナグマ等の生態と被害防止対策」について、中小型獣の生態や被害防止の方法に詳しい、埼玉県農業技術研究センター鳥獣害防除研究チームの古谷益朗氏を招聘して県北会場では、7月27日に林業技術センターで、県南会場では、28日に宮崎市清武総合支所及び清武町黒北において開催しました。

室内では、アナグマ、ハクビシン、アライグマなどの総合的被害対策や野生生物から田畑を守る！鳥獣被害対策のための意識改革などについての座学を実施したあと、午後からの現地研修では、中型動物の農作物被害防止柵として実際に、埼玉県で開発された「楽落くん」、低コスト型の「楽落くんライト」の設置を行いました。

設置後は、講師から改善点などの説明や水路など凸凹部の対策方法についての説明がありました。県南会場では、実際に被害に遭われた農家の方から被害状況の説明を受け鳥獣被害対策の重要性を改めて知る機会となりました。

この研修を受講されたマイスターの今後の現場指導での活躍が期待されます。

鳥獣被害対策マイスター研修  
(レベルアップ研修)



(林業技術センターでの室内研修の様子)

← 宮崎市清武町黒北での現地研修の様子

(写真手前が「楽落くん」、奥が「楽落くんライト」)



(農家の方からの被害状況の説明の様子)



## 特定外来生物アライグマ出没か？……！！！！！！

6月下旬小林市において、特定外来生物に指定され、農畜産作物などに深刻な被害を及ぼすアライグマと思われる痕跡情報が寄せられました。これまで県内においては、平成27年度に延岡市と日之影町で1頭ずつ、また、平成28年度に西都市及び高原町で1頭ずつの計4頭が捕獲されています。

今回、情報が寄せられた後、早急に暗視カメラによる監視を7月下旬まで行いましたが、アナグマ、タヌキ、イタチが確認されたものの、アライグマは確認されませんでした。また、7月29日、上記マイスターレベルアップ研修(中小型獣対策)の講師として招聘していた埼玉県の古谷益朗氏の同行のもと、マイスター及び西諸県地域鳥獣被害対策特命チームで研修会を現地で開催し、痕跡の実物を確認したうえでアライグマであるか否かの調査を行いました。調査の結果は、「過去に生息(一時的な通過等)されていたのではないかと推測される」とのことでした。

今後、このようにアライグマと思われる情報がありましたら、支庁・各農林振興局、市町村役場などに連絡ください。



(研修の様子)



(痕跡状況調査)



(暗視カメラ確認の様子)

### 被害対策に関する問合せ

西臼杵支庁及び各農林振興局  
各市町村・各農協・各森林組合等



# ☆鳥獣被害対策地域特命チームだより☆

## 東臼杵（北部）地域

### ○ 地域が一体となった鳥獣被害防止対策の推進

東臼杵北部農業改良普及センター管内では、4つのモデル集落を設置し、地域が一体となった鳥獣被害防止対策の推進に取り組んでいます。

延岡市北浦町歌系集落は平成27年度からモデル集落であり各種の支援を行ってきましたが、女性の元気度が年々高まってきました。

井上雅央スベシヤリストを招いての現地研修会を27年に開催して以降、研修会への女性の参加率が増えています。集落では、バードパンチャーの展示や、防護柵・ネットの設置状況点検、草むらの除去やネットの張り替えなどを行ってきました。



藪地の整備とネット張り作業



モデル菜園の手作り看板



無人販売所「すずめのおやど」



すずめの学校のメンバー

今年の3月からは、女性グループ10名が「鳥獣に負けない野菜づくり」の勉強会を始め、モデル菜園「すずめの学校」を設置しました。収穫物は地元の仕事所等で販売していましたが、夏には手作りの無人販売所「すずめのおやど」を集落内にオープンさせました。菜園の周囲には、猿・鹿・猪も出没しますが、ワイワイ集まったの共同作業はメンバーの楽しみの場となっています。

「野菜を売って、島根県美郷町の「青空サロン」に行こう！」を合い言葉に野菜の手入れに余念のない女性達、そしてその活動を支える男性陣で集落は活気を見せれています。

## 西諸県地域

### ○ 平成29年度鳥獣被害防止対策交付金事業の整備事業取組農家を対象とした事前研修会を開催

西諸県地域では、平成29年度鳥獣被害防止対策交付金関係事業において11月以降に防護柵の整備を行う地域の生産者を対象とした事前研修会を10月12日（木）に開催しました。

研修では、生産者37名、関係機関14名の参加があり、林業技術センターを招いて集落レベルでの被害対策の重要性、防護柵の機能的な設置方法、地域の鳥獣被害の現状等について講演・実演をしていただきました。特



西諸県地域の野生鳥獣の被害状況と対策について

に、防護柵の設置については、張り方を誤ると被害の防止効果が大幅に減ってしまうことや、長期に渡る柵の管理が困難になることを生産者に十分に説明し、事業の効果的な利用を促しました。生産者からは、柵が壊れた場合の対応方法や柵の設置方法等について多数の質問があり、充実した研修会となりました。

次年度以降も、このような研修会を開催し、地域の鳥獣被害の減少を図っていければと考えています。



鳥獣被害対策支援センターから電気柵設置などについて